

# 第7回名古屋本丸 ライオンズ旗争奪大会



**(公財)日本少年野球連盟**

**期 間**

2024年5月19日(日)、25日(土)、26日(日)  
予備日 6月1日(土)

**会 場**

ノザキ製菓アイリスパーク球場 他

**主 催**

名古屋本丸ライオンズクラブ

**主 管**

(公財)日本少年野球連盟 愛知県西支部

**後 援**

愛知銀行・(公財)日本少年野球連盟



## 名古屋本丸ライオンズ旗争奪大会を迎え



名古屋本丸ライオンズクラブ

第47期 会長 瀧川 浩司

第7回名古屋本丸ライオンズ旗争奪大会がここに開催されますことを大変うれしく思います。今回は愛知、岐阜、京都、大阪から多くの皆様にご参加頂きましたことを心より感謝申し上げます。

また、本会を開催するにあたり多大なご協力をいただきました公益財団法人日本少年野球連盟愛知県西支部様、ご後援いただきました愛知銀行様には本誌をお借りしてお礼申し上げます。

私共、名古屋本丸ライオンズクラブでは、1977年3月結成以来、社会福祉事業・青少年育成事業などで多くの奉仕活動を行って参りました。近年、野球をはじめサッカー、ラグビーなど団体で行うスポーツにおいては少子化の影響を受けてクラブ活動としての存続が危ぶまれております。当クラブではこのようなスポーツを通じて相互扶助の心や思いやりの心を育成し、青少年の成長に一役を担える様より一層力を入れて支援していく所存であります。

最後に本大会の開催にあたりご尽力賜りました皆様に改めて心よりお礼申し上げますとともに、本大会が成功裏に終われますことを祈念しご挨拶とさせていただきます。

名古屋本丸ライオンズクラブ ホームページのご案内 <https://honmarulions.com/>

# 式次第

## 開会式

行いません

## 閉会式

日時 2024年5月26日（日） 16時30分

場所 ノザキ製菓アイリスパーク球場

- 次第
1. 来賓、役員、審判員、監督、コーチ整列
  2. 選手整列
  3. 表彰式
  4. 選手、来賓、役員、審判員、監督、コーチ退場

## 第7回 名古屋本丸ライオンズ旗争奪大会 役員名簿

<p>《大会会長》</p> <p>名古屋本丸ライオンズ 会 長 瀧川 浩司</p> <p>《大会副会長》</p> <p>名古屋本丸ライオンズ 前 会 長 江本 和総</p> <p>名古屋本丸ライオンズ 第 一 副 会 長 梶田 学</p> <p>名古屋本丸ライオンズ 第 二 副 会 長 村井 三雄 GAT 委 員 長</p> <p>名古屋本丸ライオンズ 幹 事 鈴木 貴雄</p> <p>名古屋本丸ライオンズ 会 計 高畑 敏彦</p> <p>名古屋本丸ライオンズ 計画・大会委員長 会員・会則委員長 江本 和総</p> <p>名古屋本丸ライオンズ 国際関係委員長 YCE・レオ委員長 三口 大登</p> <p>《大会委員長》</p> <p>愛知県西支部 支部長 渡会 武則</p> <p>《大会副委員長》</p> <p>愛知県西支部 副支部長 荒川 達哉</p> <p>愛知県西支部 副支部長 牧野 義人</p> <p>愛知県西支部 副支部長 中村 直人</p> <p>《大会運営委員長》</p> <p>愛知県西支部 企画運営部長 山岸 昌弘</p> <p>《大会運営副委員長》</p> <p>愛知県西支部 企画運営副部長 林 透</p> <p>《大会行事委員長》</p> <p>愛知県西支部 行事委員長 玉置 正樹</p> <p>《大会事務局長》</p> <p>愛知県西支部 事務局 局長 中村 直人</p> <p>《大会副事務局長》</p> <p>愛知県西支部 副事務局 局長 澤中 涉</p> <p>《大会運営委員》</p> <p>清水 英史 山本 一利</p> <p>加藤 剛司</p>	<p>《大会顧問》</p> <p>日本少年野球連盟 名誉会長 藤田 英輝</p> <p>日本少年野球連盟 会長 惣田 敏和</p> <p>日本少年野球連盟 副会長 工藤 眞一</p> <p>日本少年野球連盟 専務理事 大富 肇</p> <p>日本少年野球連盟 特別相談役 堀内 健</p> <p>日本少年野球連盟 理事 松本 行弘 中日本ブロック長</p> <p>日本少年野球連盟 理事待遇 伊藤 大輔 愛知県西支部担当</p> <p>《大会参与》</p> <p>愛知県東支部 支部長 富田 敏正</p> <p>愛知県中央支部 支部長 東 亜行</p> <p>岐阜県支部 支部長 澤田 和尚</p> <p>《大会広報委員長》</p> <p>愛知県西支部 広報委員長 池田 一成</p> <p>《大会広報副委員長》</p> <p>愛知県西支部 副広報委員長 林 透</p> <p>《大会会計部長》</p> <p>愛知県西支部 会計部長 牧野 義人</p> <p>《大会会計副部長》</p> <p>愛知県西支部 会計副部長 内藤 邦将</p> <p>《大会会計監査》</p> <p>愛知県西支部 監事 大迫 英紀</p> <p>《大会審査指導部長》</p> <p>愛知県西支部 審査指導部長 柴田 昭二</p> <p>《大会審査指導副部長》</p> <p>愛知県西支部 審査指導副部長 林 日出夫</p> <p>《大会審判長》</p> <p>愛知県西支部 審判長 山田 和雅</p> <p>《大会副審判長》</p> <p>愛知県西支部 副審判長 林 欣吾</p> <p>愛知県西支部 副審判長 大竹 英樹</p> <p>愛知県西支部 副審判長 小笠原 崇人</p> <p>《大会審判員》</p> <p>愛知県西支部審判諸氏</p>
---	---

## 《大会規定》

- 1・1チームの登録選手は9名以上20名以内とする。
- 2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
- 3・審査証は当年度発行のものとする。
- 4・オーダー表記入選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチおよびマネージャーのみがベンチに入ることができる。但し、各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上でベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者不在の場合は試合できない。
- 5・組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
- 6・監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 7・試合開始時刻60分前に試合場に到着し、直ちにオーダー表を5部、投球数記録表(副)3部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出の上、所定の審査を受けなければならない。
- 8・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
- 9・試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときは、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 10・試合方法など
  - (1)各試合は6回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から1時間40分を超えた場合、新しいイニングに入らない(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデットゲームとする。
  - (2)4回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
  - (3)6回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長7回あるいは試合開始から1時間40分を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方法を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
- 11・(1)投手は1日最大70球とし、連続する2日間で105球とする。3連投(連続する3日間)は禁止とする。
  - (2)ダブルヘッダーでの場合で2試合に登板したときは連続2日間投球した事とし、翌日は登板できない。
  - (3)大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目70球の投球は可とする。打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。ボークは投球数にカウントしない。雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。なお、変化球を禁止する。
  - (4)日程の変更(地区大会を含む)等で前大会と連続試合になる場合は、「直前大会参加状況報告書」を次大会の最初の試合日に、次大会主催者宛 提出しなければならない。
- 12・(1)監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
  - (2)守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
  - (3)内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
  - (4)指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 13・1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- 14・審判員の判定に対する抗議は認めない。但し、ルールの適用についての確認は認める。
- 15・監督またはコーチが投手に指示などをするときには、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 16・2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 17・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。

- 18・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- 19・攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチスボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合必ず両耳付きヘルメットを着用すること。
- 20・各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具（マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ）2組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。
- 21・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟パートナー企業のものに限る。
- 22・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること【SG マーク必須】
- 23・グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 24・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 25・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 26・試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 27・守備側のチームの監督は球審に敬遠の意思を伝えると投手が投球することなく対戦打者を四球にすることができる（申告敬遠）。

安全と安心の目印  
SGマーク



## 参考

### 野球規則 7.02(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

### 《タイプブレイク実施細則》

#### (1) 特別規則

- (イ) 延長7回あるいは試合開始から1時間40分を超えて（いずれか早い方）両チームの得点が等しい時以降の回の攻撃の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
  - (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。
  - (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。
- (二) この場合の代打および走者は認められる。

#### (2) チームおよび個人記録

チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

##### (イ) 投手記録

- ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点とはしない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打、無得点試合は認める。

##### (ロ) 打撃成績

- ・規定により出塁した3走者の出塁記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録する。

### 【AED所持の確認】

- ・選手審査時にチームはAEDを所持していることを確認すること。

# 小学生投手の投球制限ガイドライン 2022 年版

## レギュラーの部・ジュニアの部 大会

小学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は以下のとおり制限する。

- ① 1日最大70球とし、連続する2日間で105球とする。  
3連投(連続する3日間)は禁止する。
- ② 大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目70球の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ④ ボークは投球数にしない。
- ⑤ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

## \*小学部共通事項

1. ダブルヘッダーの場合で、2試合に登板した時は連続2日間投球した事とし、翌日は登板できない(ダブルヘッダーの登板は可/3連投は不可)  
また、1試合のみ登板した場合は、1日の投球とする。
2. 小学部に於いては投手から捕手の制限は設けないが、指導者は十分考慮すること。

## \*補足・キッズの部(4年生以下)

キッズの試合での登板は以下のとおり制限する。(4年以下)

- ① 1日最大50球とし、2日間の連投は禁止する。(キッズは連投禁止)
- ② 打者の途中で制限数が来た場合は、当該打者の打席終了までは投球を認める。  
制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ③ ボークは投球数にしない。
- ④ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

## ウイルス感染予防ガイドライン

### 1. 出場チームの遵守事項

#### (1)検 温

- ①開会式3日前～大会参加期間中はチームの参加者全員が検温を実施し体調管理をチームで行うこと
- ②参加者名簿は感染者等が出た場合等に提出できる体制をチームで確立すること  
※名簿の提出は不要。大会中に感染拡大等により名簿の提出を求めることがある

#### (2)消毒・換気等

- ①チームで消毒液等を備え、食事前等に手指消毒を徹底すること
- ②バス及び自家用車等での移動や宿舎内は換気をこまめに行うこと
- ③マスク着用は義務付けないが、感染が疑われる場合等はチームとしてマスク着用について適宜判断すること

#### (3)発熱者等の発生時

- ①発熱者が出た場合は、発熱者を隔離、ウイルス検査等、医師の診察を受けること
- ②発熱者と宿舎での同室、接触が特に密な選手等は、マスク着用で他の選手・チーム関係者と接触を少なくし、大会に参加すること
- ③発熱者が陰性の場合、上記②を解除できる

#### (4)チーム責任者について

- ①チーム責任者(基本は代表、または副代表等)は、感染対策をはじめチームの行動の全責任を負い、大会期間中は、連盟規約や各種決定事項の遵守を徹底すること
- ②大会期間中のチーム責任者の氏名及び連絡先を事前に連盟本部に報告すること

### 2. 大会・試合に関する遵守事項

#### (1)集合時

- ①試合に際し、チームは試合開始1時間前を目途に球場に到着すること
- ②本部等のチームの全体挨拶は行わず、チーム責任者が到着した旨を本部に伝える
- ③チーム責任者は到着時に、役員・選手登録名簿、オーダー表、直前大会・練習試合投球状況報告書(初日のみ)、2試合目以降は投手投球数記録表(正)1枚、(副)3枚を球場責任者に提出すること

#### (2)審査について

- ①球場責任者は、提出された役員・選手登録名簿、オーダー表と照合し、審査を開始する
- ②大会審査はチーム責任者立会の下、道具審査を行い、チーム責任者及び指導者等、選手は規定に基づき整列し、球場責任者等の役員が上記①で確認した役員・選手登録名簿により行う
- ③審査の際に選手は氏名・生年月日を発声し、資格証を審査者に見えるように提示する

### 3. その他

#### (1)球場スタンド・応援等

- ①スタンドにおいても、一定のソーシャルディスタンスを意識すること
- ②できるだけ、他チームの関係者と接触しないようにすること
- ③スタンド等観戦時に保護者等は、節度ある応援とすること  
・鳴り物は使用しない。ナイスプレーは拍手で賞賛する。  
メガホンは使用可(ただしメガホンを通しての声出しは禁止)(球場のマナーに従う事)
- ④試合終了後は、応援チームでスタンドの清掃を行うこと

#### (2)その他

- ①感染状況により、2類時のガイドラインに準ずる取り扱いとなる場合がある
- ②この場合は、連盟本部から改めて臨時のガイドラインを発する
- ③その他、大会期間中に疑義等があれば連盟本部に支部長を通じて照会すること 以上



東海ボーイズ

代表	加藤 剛司		
監督	志賀 裕一		
コーチ	金井 慎司		
マネージャー	本多 久		
11	主将	鈴木 篤志	6年
1		本多 功芽	6年
5		内村 優斗	6年
7		小澤 后都	4年
9		松井 廉	4年
17		佐藤 優	5年
18		伊波 凜之介	6年
19		本多 由芽	3年
21		開米 悠生	4年
25		開米 統生	6年
31		山本 文馬	6年
44		田中 ランディ	4年

名古屋東・岐阜合同ボーイズ

代表	清水 英史		
監督	長尾 文博		
コーチ	尾関 大輔		
マネージャー	岡本 清美		
5	主将	橋本 陣之右	6年
1		岡本 蒼生	3年
2		石川 凌久	6年
6		森 達志	6年
7		橋本 文太郎	2年
8		葛西 新	6年
9		鶴飼 惇生	6年
10		葛西 隼	3年
12		濱地 凜	6年
16		大栗 賢祐	4年
17		大竹 敦貴	6年
21		福永 皓天	5年
51		笠原 帆高	6年

京都洛北ボーイズ

代表	西 裕美		
監督	松村 慎也		
コーチ	樋口 翔人		
マネージャー	国本 憲治		
6	主将	堂坂 将史	6年
1		橘 慶橙	5年
3		山本 翔輝	6年
4		藤野 雅	5年
5		国本 隼青	6年
7		村井 維人	5年
9		奥村 マカル	5年
11		丸山 樹	4年
12		北川 武龍	5年
17		大島 悠暉	6年
18		大野 咲空	6年

豊川中央ボーイズ

代表	牧野 寛央		
監督	竹内 洵太		
コーチ	内田 学良		
マネージャー	朝倉 義博		
1	主将	齋藤 心羽	6年
3		武馬 陽希	4年
4		加藤 梓真	5年
5		谷口 翔唯	3年
7		齋藤 壮太	4年
8		朝倉 健心	5年
9		平手 九	6年
18		小島 大基	4年
22		鈴木 直音	6年
24		長坂 成悠	5年

大阪八尾ボーイズ

代表	増田 俊之		
監督	山口 秀二		
コーチ	山口 太地		
マネージャー	本田 泰光		
10	主将	本田 祐星	6年
11		南 寿希矢	6年
12		友松 来希	6年
13		松寺 陽	6年
14		佐竹 晃天	6年
15		一場 斗吾	5年
16		川原 侑哩	5年
17		濱田 兼史	5年
18		山口 諒輔	5年
19		南 琉希矢	5年
20		服部 航大	5年
24		小磯 月瑠	4年

小坂井ボーイズ

代表	星野 直之		
監督	中川 和彦		
コーチ	鈴木 康弘		
マネージャー	洪川 裕史		
9	主将	金子 泰士	6年
1		中野 志玲	4年
4		岩田 健志	5年
5		洪川 皆叶	3年
6		岩田 清志	3年
8		石川 竜大	4年
10		小澤 侑史	4年
15		酒井 暖稀	4年
16		平江 蒼志	6年
17		宇井 璃空	4年
18		尾崎 一心	4年
22		小久保 和真	4年
25		山口 成稀	6年
28		別所 凜空	6年
33		岩永 武琉	4年
44		大林 煌琥	3年

愛知豊橋ボーイズ

代表	大竹 香太郎		
監督	中野 誠司		
コーチ	岡林 孝仁		
マネージャー	加藤 恭一		
6	主将	加藤 新大	6年
1		木下 純	4年
2		長坂 将吾	5年
4		百武 颯翔	6年
5		河合 光葵	6年
7		梅崎 翔己	4年
9		牛濱 友暉	6年
10		河合 天翔	4年
18		青木 魁	6年
19		鈴木 蒼志	5年
22		岡田 類	4年
23		大津 寛太	5年
24		三原 陽斗	5年
28		坪井 楓弥	6年
30		大竹 志拓	4年
39		蒲野 伶王	6年
41		栗田 隼杜	6年
44		伊藤 陸	5年

稲沢中央ボーイズ

代表	林 透		
監督	長尾 実		
コーチ	伊藤 文博		
マネージャー	石田 侑靖		
20	主将	堀場 梁源	6年
1		山田 大智	6年
4		木全 裕信	6年
5		大山 青葉	4年
6		大隈 楓莉	6年
9		佐藤 湊	6年
10		北川 隆晴	6年
12		蔭山 奏弥	5年
14		加藤 翔太郎	6年
17		北島 大己	5年
18		赤塚 息吹	6年
19		佐野 裕真	5年
22		広田 爽真	5年
24		原田 昇虎	5年
25		堀場 瑛心	4年
33		後藤 蓮旺	6年
54		腰山 潤人	6年

# 名古屋本丸ライオンズ旗争奪大会歴代優勝チーム

	優勝	準優勝
2018年 第1回	東海ボーイズ	豊川ボーイズ
2019年 第2回	岡崎葵ボーイズ	東海ボーイズ
2020年 第3回		中 止
2021年 第4回	三重伊勢ボーイズ	春日井ボーイズ
2022年 第5回	稲沢中央ボーイズ	岡崎葵ボーイズ
2023年 第6回	稲沢中央ボーイズ	東海・春日井合同ボーイズ
2024年 第7回		